

## アピール

今、健康長寿社会の実現にむけて、歯科医療の役割がますます重要になっていることは、厚生労働省をはじめ様々な調査でも明らかになってきています。

しかし、国による長年にわたる低歯科医療費政策は、歯科医師、歯科技工士、歯科衛生士などの働く環境に大きな障害となっています。加えて歯科では、高い窓口負担や保険のきかない治療があるため、国民、患者が歯科医療を受けることを妨げる要因にもなっています。

私たちは、いつでも、どこでも、だれもが、安心して受けられる保険で良い歯科医療の実現をめざして、多くの患者・国民、医療従事者と力を合わせ、さらに運動を広げることを決意して下記の行動を推進することを宣言します。

1. 安心して歯科治療が受けられるよう、窓口負担の大幅軽減を実現させよう
2. 保険のきく歯科治療の範囲を広げよう
3. 歯科技工技術料を大幅に引き上げよう
4. 歯科医療を支える歯科技工士、歯科衛生士の地位向上と待遇改善を求めます
5. 国と自治体、企業が責任をもって、歯科健診の充実させよう
6. 国が医療に使う予算を大幅に増やし、歯科診療報酬の引き上げを求めます

2015年6月4日

「『“歯は命”健康長寿社会にむけて保険で良い歯科医療を』  
6・4国会内集会」参加者一同